

第2学年 国語科学習指導案

日 時：平成23年9月16日 5校時
場 所：五日市小学校 2年教室
児 童：男子3名 女子4名 計7名
指導者：川端 綾子

1 単元名 はっぴょうしよう
「あったらいいな、こんなもの」

- 2 単元目標
- ・自分が考えた「物」について、相手に分かるように、声の大きさや速さなどに注意しながら話すことができる。
 - ・大事なことを聞き落とさないようにしながら友だちの話を聞き、感想を述べたり質問したりすることができる。

3 高めたい力

教材特性に関して	<p><話すこと> 話す事柄や順序を考え、声の大きさや速さなどに注意して話す力</p> <p><聞くこと> 大事なことを落とさないように興味を持って聞く力</p> <p><話し合うこと> 話し手の方を向き、うなずいたりしながら聞く力</p>
----------	--

4 単元の指導について

教材について	<p>本単元は、自分が考えたものを友だちに分かるように説明するという場面を設定し、「話すこと聞くこと」の全ての指導事項を含んでいる。「あったらいいな、こんなもの」は子どもたちにとって親しみのある「ドラえもん」をきっかけとして、便利な道具を自分で考えて発表するという子どもたちにとって興味をひく教材である。子どもたちはドラえもんのポケットから出てくる便利な道具についてわくわくしながら考えを膨らませ、友だちに伝えたいと意欲的に学習に取り組むことが予想される教材である。</p>
児童について	<p>子どもたちは、朝の会でスピーチを行い、みんなの前で話したり、相手に質問や感想を述べたりしている。そのような活動を通して、みんなの前で恥ずかしくならず話すようになってきている。しかし、みんなの前で話すことが苦手で、言葉が繋がらなかったり、自信がなくて文末が曖昧だったりして話の内容が相手によく伝わらない児童がいる。また言葉のキャッチボールがうまくできないこともしばしば見られる。</p>
指導について	<p>そのような実態から、相手に伝わるよう話し方の工夫、友だちのスピーチに興味を持って聞くこと、話題に沿ってやり取りすることでスピーチの内容が充実することを指導していきたい。みんなの前で話すことの苦手な児童には、ペアやグループでの話し合いに積極的に参加させることで自信をもたせるようにしたい。また、少人数学級なので、話し方のマンネリ化を防ぐために、「3年生に発表」することを最終的には相手意識としてとらえさせ、場面や相手によって話し方の工夫を考えさせたい。</p>

5 授業改善に関わって

(1) めあてと振り返りの持たせ方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し方」「聞き方」のめあてが一つずつ達成できるような持たせ方をする。 ・「振り返り」では、カードを使って自分の「めあて」を振り返り、次の活動の意欲化を図る。
(2) 高めようとする言語力が明らかな授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が話題に沿って聞き合ったり、話し合ったりできるように、学習場面によってペア・グループ・全体など学習形態を考える。
(3) 理由や根拠を明らかにした授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えたものについて、理由を言えるように話型を示す。

ともさんはどこかな

- ・絵の内容に興味をもち、大事はことを聞き落とさないようにしながら、聞くことができる。
- ・必要な事柄を選び、声の大きさや速さに注意して、はっきりと話すことができる。

次	時間	主な学習内容	主な言語活動
第1次	1	①「あったらいいな」と思うものを考え、学習の見通しを持つ。	・相手に分かるように話したり、友だちの考えたものについて興味をもって聞く活動
第2次	2	②「あったらいいもの」をたくさん考える活動。	・知らせたいものをたくさん考えて自分と同じ考えや異なる考えを発表する活動。 ＜本時＞
	3	③友だちに知らせたいものを決め、対話しながらイメージを膨らませる活動。	・質問や対話の仕方を活用する活動
	4	④話す内容と順序を考え、事柄ごとに短い言葉で整理する。	・話す内容や順序を整理するために、友だちと自分の考えを比べて発表する活動
	5	⑤話す順序を考え、組み立てを考えたり絵に描いたりする。	
	6	⑥友だちに伝えるために、話し方を考え、発表練習をする。	・話す順序を考え、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話す活動
	7	⑦スピーチを聞いて質問や感想を伝える方法を考える。	・質問や感想を伝え方を考える活動
	第3次	8	⑧発表会をする。
	9	⑨学習活動を振り返る。	

きみたちは、「図書館たんていだん」

- ・相手や場に応じ、話す事柄を順序立てて、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話すことができる。

スピーチ (朝の会で)	音読 (集会活動・家で)	話し方・聞き方 (日常で)
<ul style="list-style-type: none"> ・きのうの出来事 ・作品を紹介 ・宝物を紹介など 	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎の音読 ・教科書の音読 	<ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ ・最後まではっきり ・みんなを見て ・話す人を見て ・うなずきながら ・大事なことをおとさずに

7 本時の指導

(1) 目標

○あったらいいなと思うものについてみんなで話し合い、イメージを膨らませることができる。

(2) 研究に関わり高めようとする力

【話すこと】

- ・相手に伝わるように、最後まではっきり話す力
- ・自分の考えに理由をつけて話す力

【聞くこと】

- ・大事なことを聞き逃さないように相手を見て聞く力

【話し合うこと】

- ・話し手の方に顔を向けたり頷いたりしながら、話題にそって話し合う力

(3) 展開

段階	学習内容・活動	支援
導入 5分	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あったらいいなと思うものを考えよう。</p> <p>2 「話し方・聞き方」のめあてを決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・さいごまでしっかり話す ・相手を見て聞く </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画表を見ながら、本時は発表につながる題材を決める活動であることを知らせ、意欲的に活動するようにさせる。 ・全員がめあてを達成できるように「話し方名人・聞き方名人」の中から教師が決める。
展開 35分	<p>3 「あったらいいな」と思うものをみんなで考える。</p> <p>①自分で考えた「あったらいいもの」を発表する。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜発表の仕方＞ わたしは〇〇を考えました。 わけは・・・・・・だからです。</p> <p>②どんな時に使う道具なのかを仲間分けする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った時に使う道具 ・便利になる道具 ・楽しくなる道具など <p>4 「あったらいいな」と思うもののイメージを広げ、自分のアイデアを増やす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前によく考えさせてどの児童も発表できるようにさせる。 ・考えた理由を最後まで言わせる。話し方・聞き方のめあてを考えた発表をさせる。 ・道具を分類して視覚的にとらえさせ、他に考えられるものを自由に発表させる。 ・自分や友だちの考えたものに自分なりの工夫を加えるなどして自分の「あったらいいもの」を考える。 ・ワークシートに「あったらいいもの」をいくつか記入しておき、次時の活動で何を発表するのかを決めさせる。
終末 5分	<p>6 本時の活動を振り返る。</p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き方や話し方に対する自己評価を行い、次時への意欲を持たせる。(評価カード)

